

# 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月28日

上場会社名 株式会社 アトム  
 コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 植田 剛史  
 (氏名) 太田 一義

TEL 052-249-5225

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	21,379	—	997	—	964	—	43	—
21年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	0.01	—
21年3月期第2四半期	—	—

(注) 当第2四半期は、前第2四半期において連結財務諸表を作成していないため、連結経営成績及び連結財政状態については、前第2四半期との対比は行っておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	29,394	8,632	29.4	21.63
21年3月期	30,520	8,940	29.3	23.23

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 8,632百万円 21年3月期 8,940百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,480	74.3	2,100	370.0	1,960	270.4	2,488	—	14.49

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 168,469,955株 21年3月期 168,469,955株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 2,466,671株 21年3月期 2,465,858株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 166,003,536株 21年3月期第2四半期 37,530,484株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部輸出、生産で改善の動きが見られたものの、設備投資の落ち込みと雇用状況の悪化により厳しい状況で推移しました。

外食産業におきましても、個人消費の低迷が、客数の減少、客単価の低下に繋がり、同業者間の競争も激化してきていることから、経営環境は厳しいものになっております。

このような状況の中、当社は当期間中の新店を8店舗オープンし、3月に吸収合併したジクトの主要業態である「ステーキ宮」の店舗数を業態変更により4店舗増加するとともに、不採算店舗33店舗の閉鎖を行い、収益改善を進めました。

各事業部門の概要は以下の通りです。

#### ①すし部門

すし部門での新規出店はありませんでした。

改装につきましては直営店2店舗（「海鮮アトムボーイ」2店舗）を行いました。

閉店につきましては直営店6店舗（「にぎりの徳兵衛」5店舗「廻転アトムボーイ」1店舗）を行いました。

この結果、店舗数につきましては82店舗（直営店65店舗、FC店17店舗）となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は44億84百万円となりました。

#### ②レストラン部門

新規出店につきましては直営店8店舗（「甘太郎」2店舗、「NIJYU-MARU」1店舗、「ステーキ宮」1店舗、「いろはにほへと」1店舗、「ラパウザ」1店舗、「ウィルビー」1店舗、「時遊館」1店舗）を行いました。

業態変更につきましては直営店5店舗（「M'sダイニング」から「ステーキ宮」へ1店舗、「炭火ダイニング暖」より「ステーキ宮」へ1店舗、「寧々家」から「ステーキ宮」へ1店舗、「ラ・アモーレ」より「ステーキ宮」へ1店舗、「にぎりの徳兵衛」から「濱ふうふう」へ1店舗）を行いました。

改装につきましては、直営店9店舗（「ステーキ宮」2店舗、「カルビ大将」2店舗、「韓の食卓」1店舗、「味のがんこ炎」1店舗、「畳屋」1店舗、「時遊館」2店舗）を行いました。

閉店につきましては直営店24店舗（「えちぜん」3店舗、「濱ふうふう」3店舗、「ラ・アモーレ」1店舗、「四天王」3店舗、「カルビ大将」2店舗、「がんこ亭」2店舗、「ウィルビー」2店舗、「フリース」1店舗、「かつ時」1店舗、「旨いもん屋」1店舗、「天ぷらときわ」1店舗、「居食ダイニング暖」2店舗、「和処ダイニング暖や」1店舗、「M'sダイニング」1店舗）、FC店1店舗（「北海道楽」1店舗）を行いました。

この結果、店舗数につきましては341店舗（直営店327店舗、FC店14店舗）となり、当第2四半期連結累計期間における売上高は164億4百万円となりました。

#### ③その他の部門

新規出店、業態変更及び改装はありません。

閉店につきましては、直営店2店舗（「創夢館」2店舗）を行いました。

この結果、店舗数につきましては4店舗（直営店3店舗、FC店1店舗）となり、当第2四半期連結累計期間におけるロイヤリティー、「その他」の売上高は4億90百万円となりました。

以上の結果、店舗数につきましては合計427店舗（直営店395店舗、FC店32店舗）、当第2四半期連結累計期間における売上高は213億79百万円、営業利益は9億97百万円、経常利益は9億64百万円、当期利益は43百万円となりました。

当期の見通しにつきましては、企業業績の低迷、雇用状況の悪化による個人消費が減退傾向にあり、当期中の個人消費の回復は難しいものと予想されます。

当社としましては当初予定した新店12店舗を10店舗とし不採算店舗から「ステーキ宮」への業態変更に力を入れるとともに経費削減による利益改善を行ってまいります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億26百万円減少し、293億94百万円となりました。これは主に借入金の返済、配当金の支払いに伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億17百万円減少の207億61百万円となりました。これは主に借入金の返済、未払法人税等の減少によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3億8百万円減少の86億32百万円となりました。これは主に配当金（被合併会社 株式会社ジクト 基準日 平成21年2月28日）の支払によるものであります。その結果、自己資本比率は、29.4%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は24億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億47百万円減少いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億30百万円となりました。

これは主に、減価償却費の計上（8億68百万円）、固定資産除却損の計上（3億66百万円）及び減損損失の計上（1億84百万円）等によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は10億68百万円となりました。

資金支出としては有形固定資産の取得による支出（12億63百万円）、資金収入としては敷金保証金の返還による収入（3億98百万円）等によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は11億9百万円となりました。

これは主に短期借入れによる収入（12億65百万円）、長期借入金の返済による支出（20億32百万円）及び配当金の支払額（3億1百万円）等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年7月28日に公表いたしました連結業績予想から通期の修正は行っておりません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### ①一般債権の貸倒見積額の算定方法

当第2四半期連結累計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、一般債権の貸倒見積高につきましては、前連結会計年度末で用いた貸倒実績率を使用しております。

#### ②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,410,015	3,277,939
売掛金	368,446	407,979
たな卸資産	314,335	359,549
その他	1,414,863	1,454,851
貸倒引当金	△871	△661
流動資産合計	4,506,788	5,499,657
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,626,297	10,807,521
土地	4,364,998	4,364,998
その他(純額)	2,449,161	2,061,758
有形固定資産合計	17,440,456	17,234,277
無形固定資産		
	167,310	170,203
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,102,999	6,436,390
その他	1,423,106	1,428,346
貸倒引当金	△246,610	△248,674
投資その他の資産合計	7,279,495	7,616,062
固定資産合計	24,887,263	25,020,543
資産合計	29,394,052	30,520,201
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,452,272	2,315,208
1年内償還予定の社債	687,000	32,000
1年内償還予定の転換社債	500,000	—
短期借入金	1,092,810	342,830
1年内返済予定の長期借入金	3,598,450	3,966,552
未払法人税等	147,403	247,741
引当金	381,921	259,742
その他	2,191,248	2,457,665
流動負債合計	11,051,106	9,621,740
固定負債		
社債	—	671,000
転換社債型新株予約権付社債	2,200,000	2,700,000
長期借入金	5,618,671	6,712,584
引当金	26,550	29,940
その他	1,864,930	1,843,952
固定負債合計	9,710,151	11,957,476

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	20,761,258	21,579,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973,273	2,973,273
資本剰余金	6,384,339	6,384,346
利益剰余金	668,705	926,135
自己株式	△990,623	△990,388
株主資本合計	9,035,694	9,293,366
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△351,993	△297,879
繰延ヘッジ損益	△50,908	△54,502
評価・換算差額等合計	△402,901	△352,382
純資産合計	8,632,793	8,940,984
負債純資産合計	29,394,052	30,520,201

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	21,379,131
売上原価	7,070,446
売上総利益	14,308,684
販売費及び一般管理費	13,311,040
営業利益	997,643
営業外収益	
不動産賃貸収入	279,358
その他	79,646
営業外収益合計	359,005
営業外費用	
支払利息	165,168
不動産賃貸原価	207,258
その他	19,776
営業外費用合計	392,203
経常利益	964,445
特別利益	
固定資産売却益	5,961
債務保証損失引当金戻入額	3,390
貸倒引当金戻入額	3,161
特別利益合計	12,513
特別損失	
固定資産除却損	366,499
減損損失	184,461
店舗閉鎖損失引当金繰入額	208,470
賃貸借契約解約損	65,663
その他	24,839
特別損失合計	849,935
税金等調整前四半期純利益	127,023
法人税、住民税及び事業税	83,456
法人税等調整額	△36
法人税等合計	83,419
四半期純利益	43,603

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	127,023
減価償却費	868,529
支払利息	165,168
固定資産除却損	366,499
減損損失	184,461
売上債権の増減額 (△は増加)	39,532
たな卸資産の増減額 (△は増加)	45,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	137,064
その他	△285,693
小計	1,647,801
利息及び配当金の受取額	7,599
利息の支払額	△155,022
法人税等の支払額	△169,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,330,805
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,263,285
敷金及び保証金の差入による支出	△117,231
敷金及び保証金の回収による収入	398,573
その他	△86,715
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,068,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	1,265,000
短期借入金の返済による支出	△515,020
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△80,635
長期借入れによる収入	570,000
長期借入金の返済による支出	△2,032,015
配当金の支払額	△301,032
その他	△16,242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,109,945
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△847,799
現金及び現金同等物の期首残高	3,257,814
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,410,015

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。